

携帯電話の電話番号数の拡大に向けた電気通信番号に係る制度等の在り方に関する関係事業者へのヒアリング
ご説明資料

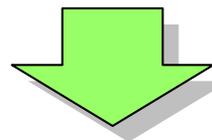
2011年7月11日
KDDI株式会社

携帯電話の番号容量の拡大

- 番号指定方法の見直し(申請時の計算における解約率の見直し)
 - ✓ 080/090の逼迫が緩和されるため実施すべき。
- 0900番号の利用、070番号の利用
 - ✓ 0900番号と070番号の利用については問題無いが、導入のしやすさの違いを考慮する必要がある。

	0900番号の携帯利用	070番号の携帯利用
PBXの設定変更	軽微又は改修不要	070-Cで携帯電話とPHSを識別する改修必要(C=5,6はPHS、その他は携帯との識別を設定) [※]
利用者への周知	090は携帯との認識が一般的なため大きな問題は無し	一般に070はPHSとの認識があるため、一定の周知期間が必要
導入のしやすさ	◎	○

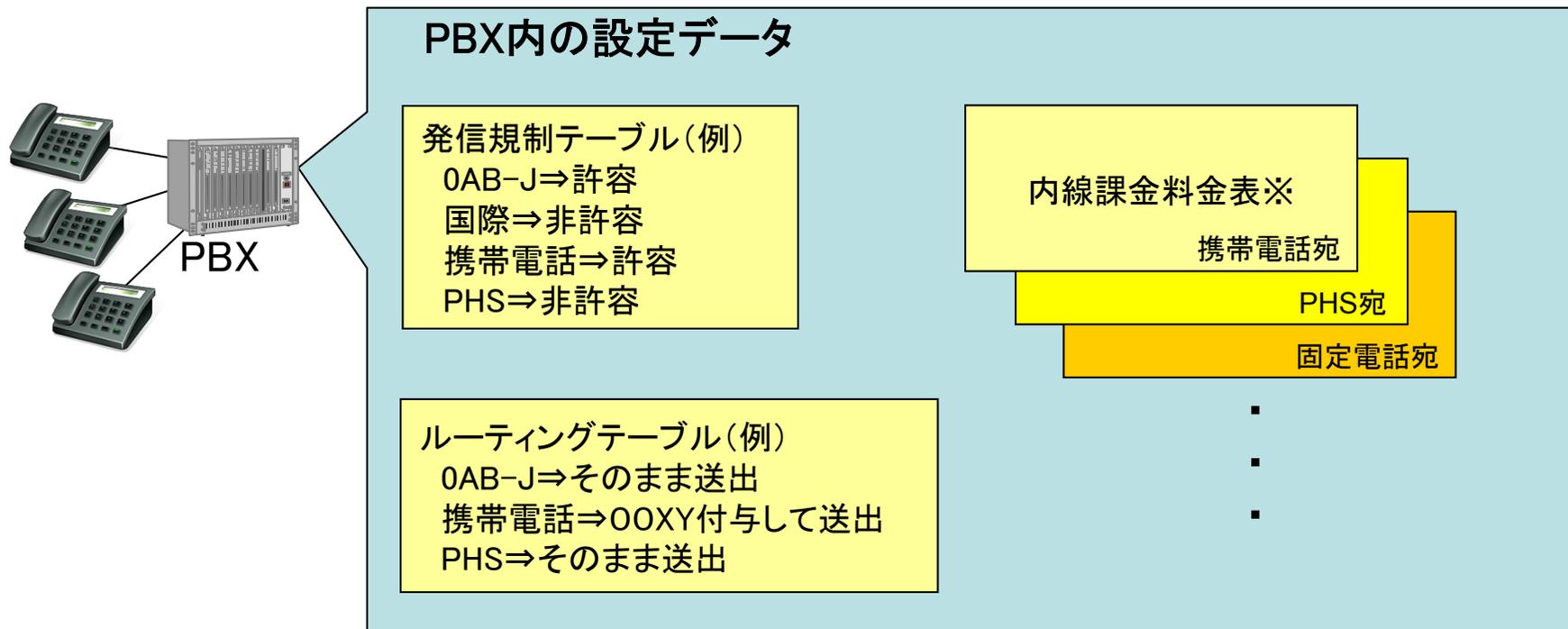
※:PBXについては次ページ参照



0900番号の方が導入が容易のため、まず0900番号、次に070番号の順番とすべき。

携帯電話の番号容量の拡大【前ページの補足】

PBXにて、番号により携帯／PHSの識別を必要とするケース



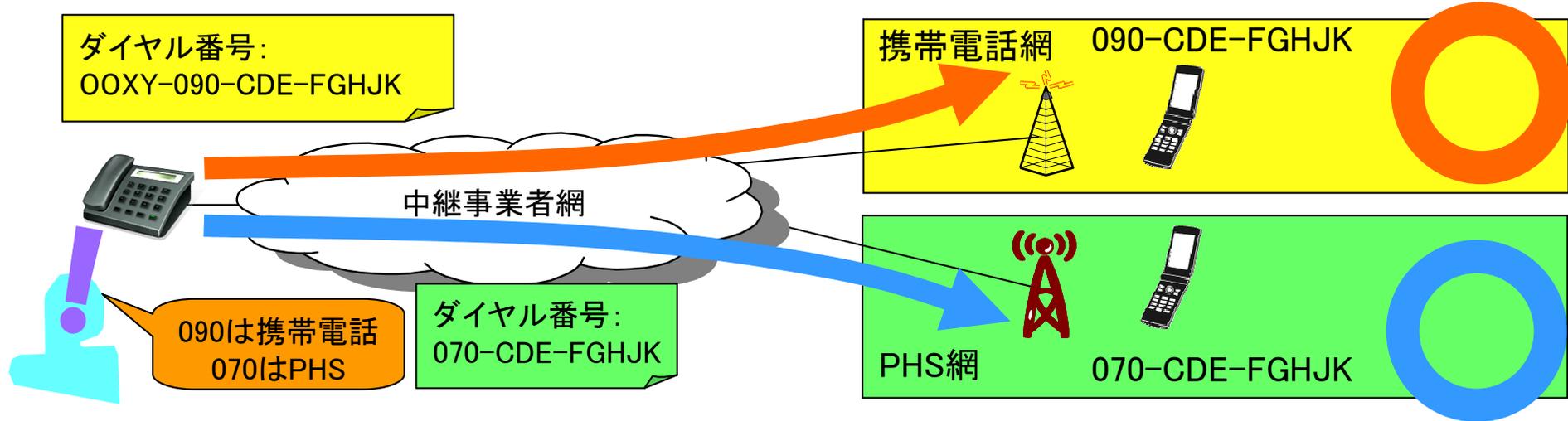
※内線課金＝PBX内部で内線毎に通話料金の計算を行うこと。
企業内で部署ごとの経費管理などの目的で使用する。

携帯電話とPHSの間にはいくつか差異があるため、MNP実施にあたっては、次項以降の課題解決が必要。

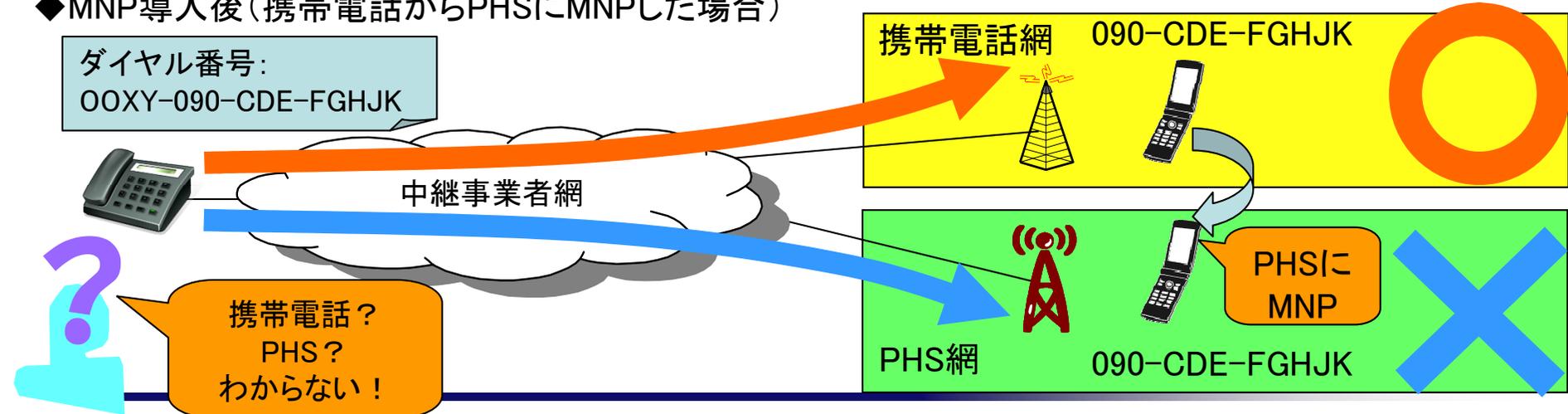
課題① 固定電話発中継事業者経由の携帯着信(00XY-0A0)

固定電話発中継事業者経由(00XY-0A0)の携帯着信は提供されているが、PHS着信は提供されていないため、携帯/PHSのMNPを行うと現状ままでは呼損が発生する懸念がある。

◆MNP導入前

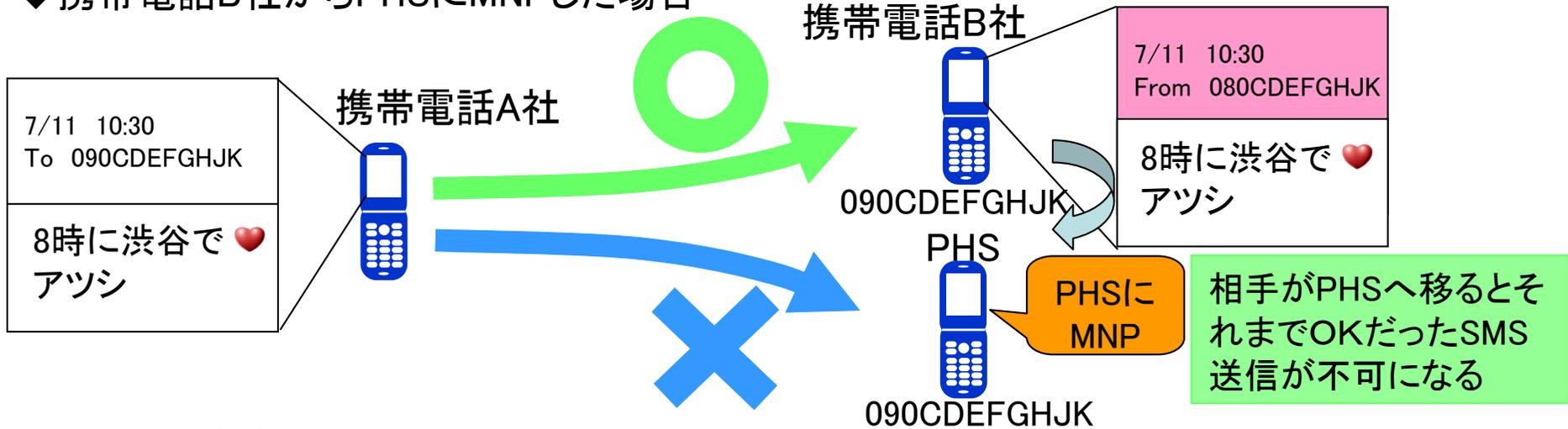


◆MNP導入後(携帯電話からPHSにMNPした場合)

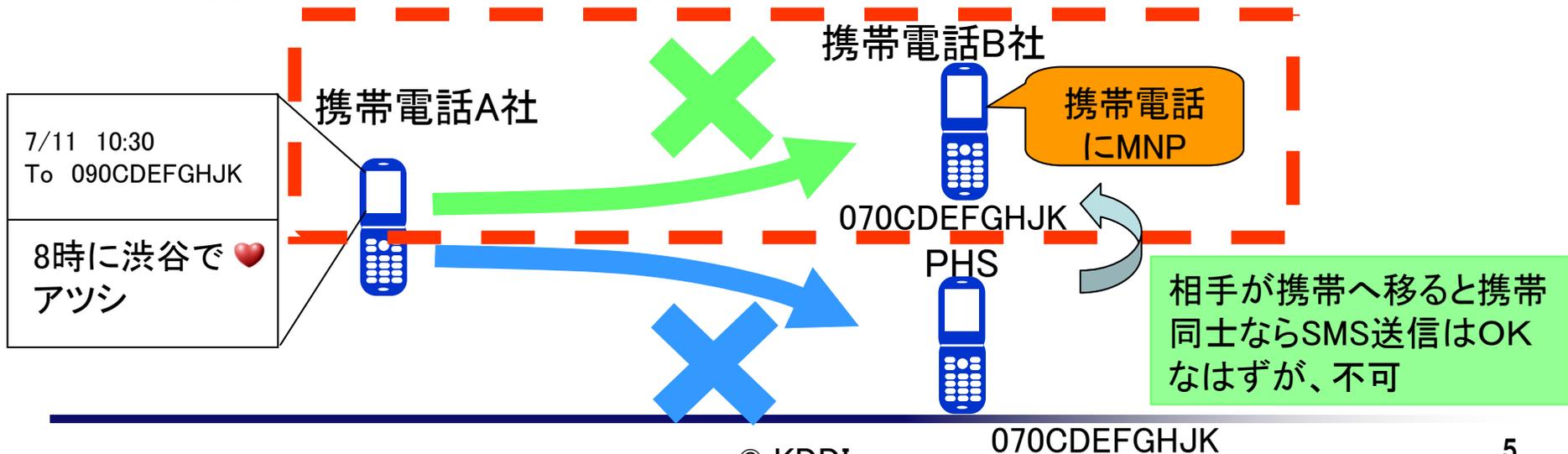


携帯同士のSMS相互接続を2011年7月から実施するが、PHSはSMS相互接続に参加していない。このままMNPを実施するとSMSを送信できなくなる場合が生じる。

◆携帯電話B社からPHSにMNPLした場合



◆PHSから携帯電話B社にMNPLした場合



携帯電話とPHSで料金や接続サービスが異なる。発番号で携帯電話とPHSを識別しているサービスでは携帯電話とPHSのMNP実施時に区別不能となり、課金や接続規制等で問題が生じる。

◆フリーコール



◆プリペイド



◆NTT-Comの0570(ナビダイヤル)、0180(テレドーム)

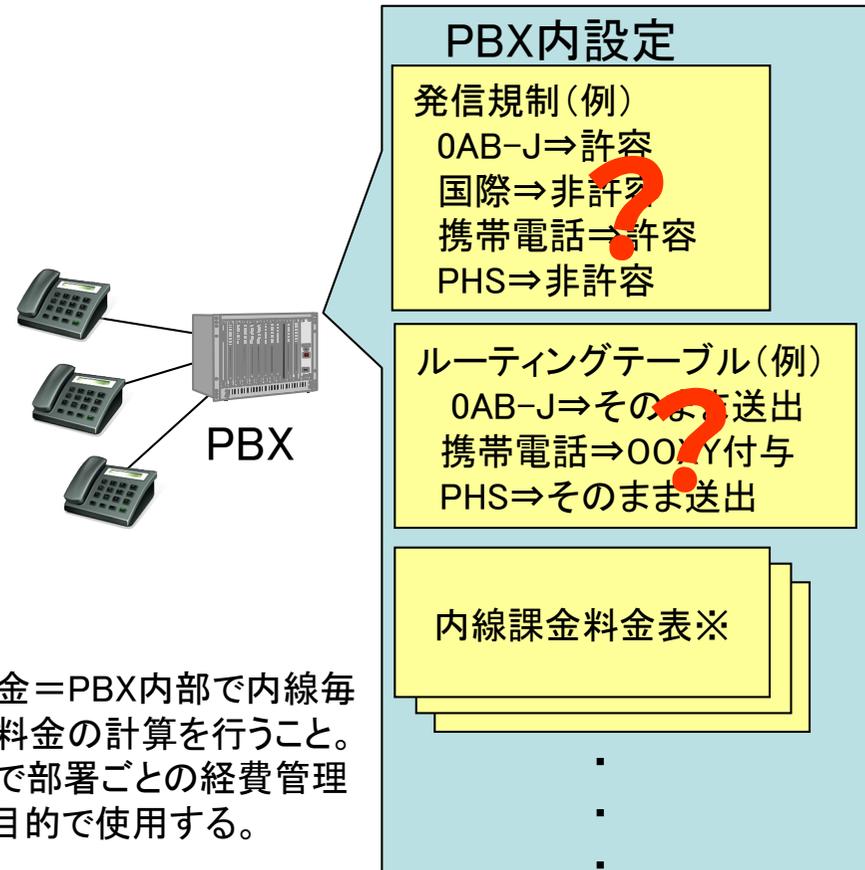
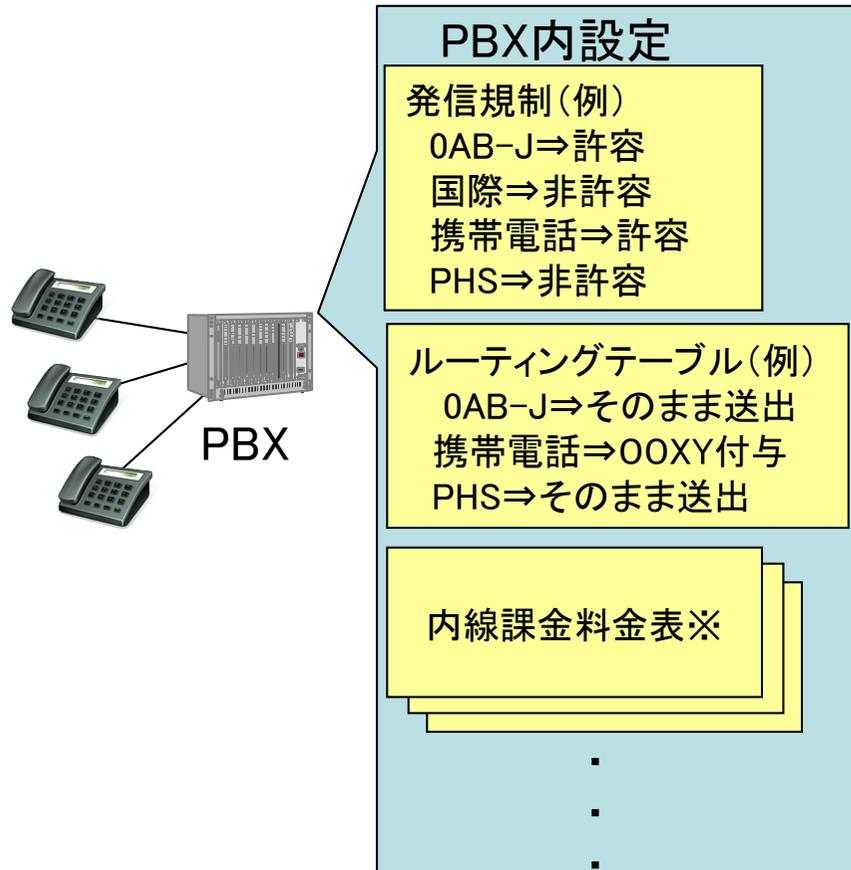


携帯電話とPHSのMNP 課題⑥ PBXの改修

ダイヤルによってPBXで各種制御を実施している場合、携帯電話／PHSのMNPを実施することにより電話番号で携帯電話とPHSの識別が困難となる。この課題についての検討が必要。

【070-C(C≠5/6)携帯利用(PHSとのMNP無しの場合)】

【携帯／PHSのMNPを実施した場合】



※内線課金＝PBX内部で内線毎に通話料金の計算を行うこと。企業内で部署ごとの経費管理などの目的で使用する。

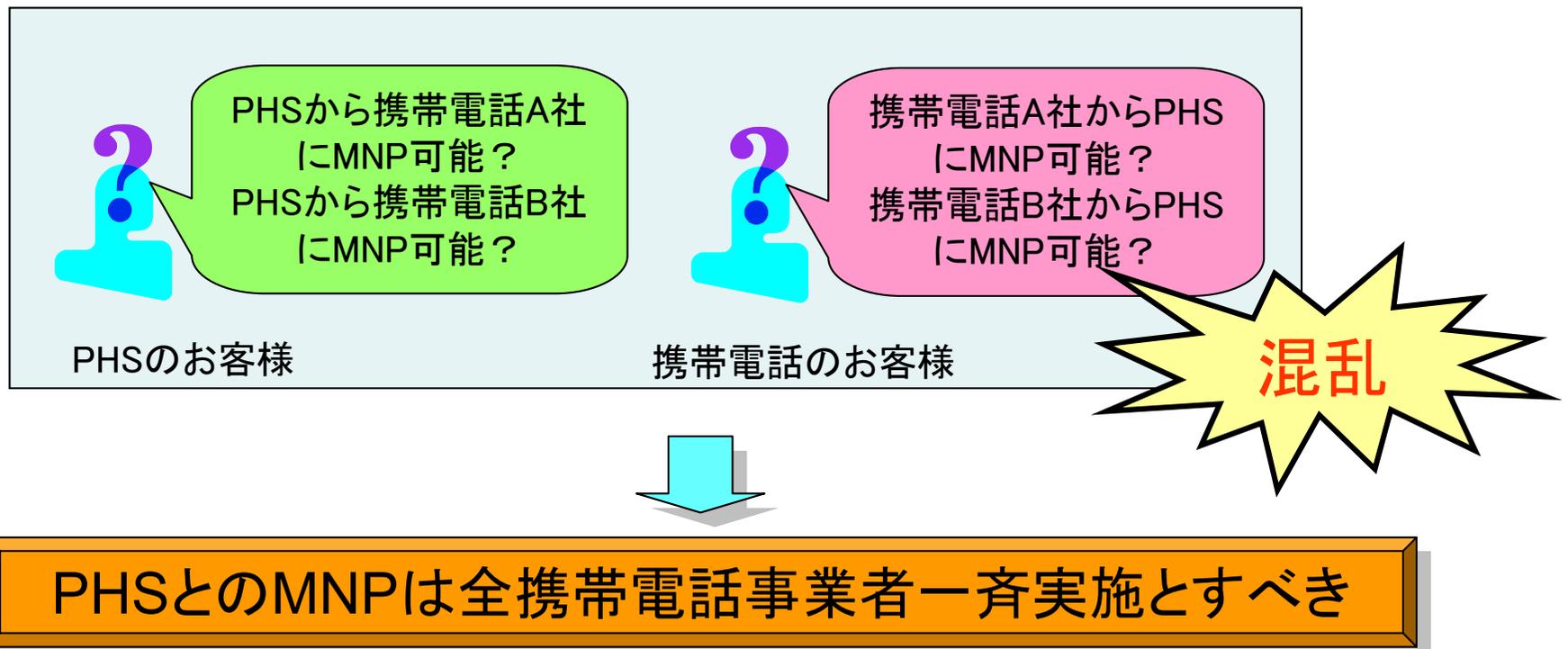
070-Cまで見る改修をPBXで実施すれば
 携帯電話とPHSの識別可能

携帯電話とPHSの識別困難
 ⇒ルーティングや内線課金に影響

<現状>

携帯電話4社間でMNP実現

<一部携帯電話事業者のみPHSとのMNPを実施した場合>



サマリ

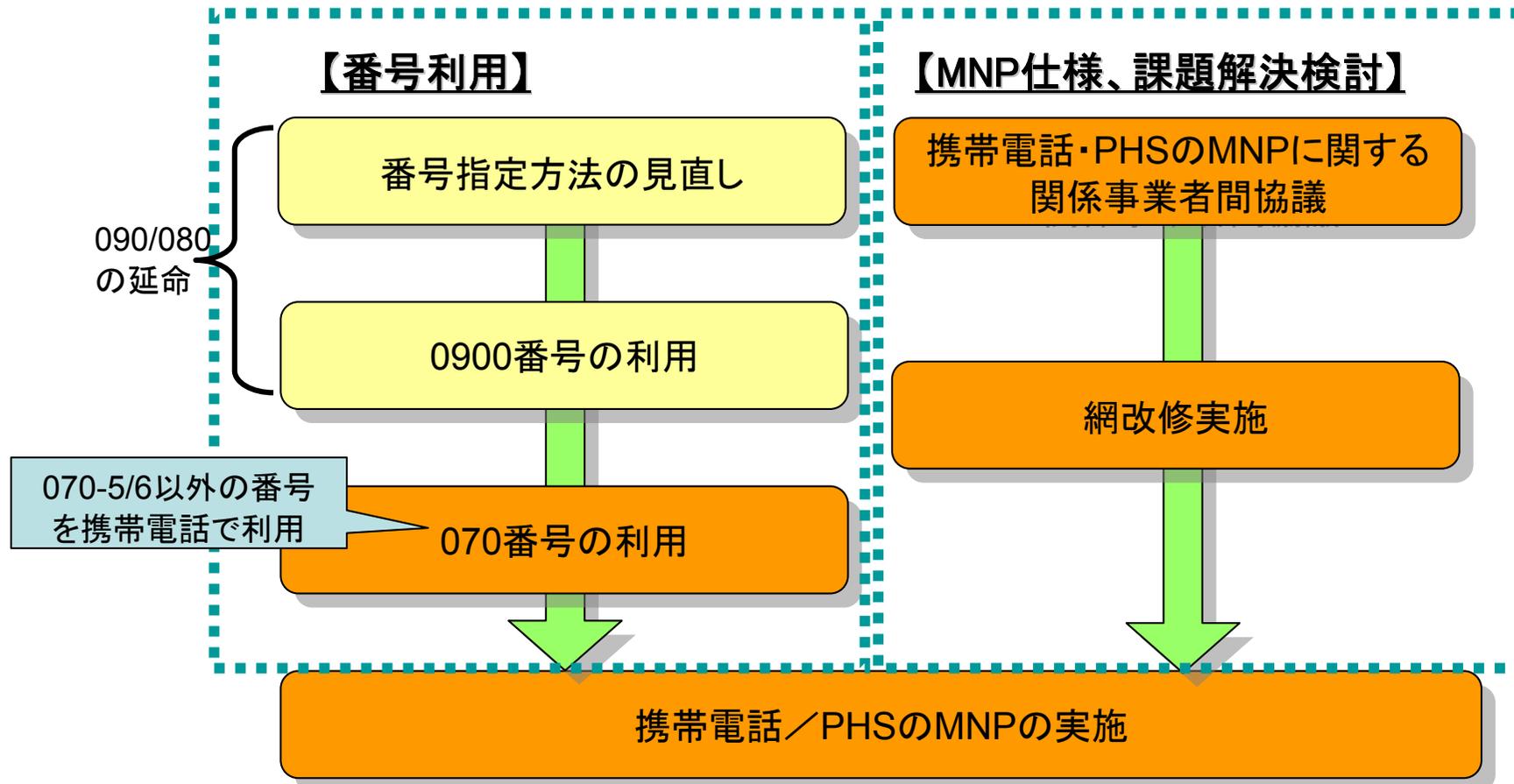
携帯電話とPHSのMNPの課題一覧

携帯／PHS間の違い等に起因するMNP導入に際しての課題を整理すると以下のとおり。

課題	現状と問題点
固定電話発中継事業者経由の携帯着信(00XY-0A0)	携帯は対応しているが、PHSは未対応のため呼損等の懸念あり
SMS相互接続	
フリーコール	番号による携帯とPHSの識別性喪失による影響発生
プリペイド	
ナビダイヤル等	
PBXの改修	
電報(115)	携帯発は可、PHS発は不可のため利用者が混乱
音声品質の違い	携帯電話：～12.2kbps PHS：32kbps
実施時期	全携帯電話事業者一斉実施とすべき

携帯電話番号の拡大とPHSとのMNPまでの流れ(案)

- ◆当社としては、番号利用の観点及びMNP仕様や課題解決の観点において段階を踏んだ進め方が必要と考える。
- ◆特にMNPに関しては、本資料で述べた課題の他にも網間インターフェイスや事業者間精算等の合意形成が必要になるため、固定系を含む関係事業者間の協議が重要となる。



- 携帯電話(M2M含む)の需要
 - ✓ 携帯電話としては、今後一定期間、現在の伸び程度で需要は伸びていくものと想定。
 - ✓ M2M需要が直近で爆発する気配は無いと考えているが、潜在需要は相当数あるものと思われるので、将来のM2M爆発に向けた議論を深めること自体は賛成。
 - ✓ M2Mの利用形態によって、電話番号を必要とするものと必要としないものが出てくる可能性もあることから、M2Mの番号利用については、現時点で桁増等の対応を決めるのは時期尚早。よって、M2M専用番号領域の定義や桁増の判断は当面様子見とするのが妥当。

- 0A1の利用
 - ✓ 0A1番号帯の携帯電話の利用については、固定系の0AB～J番号と区別が付きにくいこと、まだ0A0で賄う余地があることから現段階では考慮しなくて良いと考える。

- 番号指定要件の変更
 - ✓ 番号指定要件の変更については特段問題はないと思われる。

